

令和5年4月1日

令和5年度国分寺市教育委員会運営の基本方針

教育長 古屋 真宏

1 施政方針等を踏まえた対応

- (1) 『令和5年度施政方針』、『国分寺市ビジョン後期実行計画』及び『第2次国分寺市教育ビジョン』の確実な推進とともに、『第3次国分寺市教育ビジョン』の策定を視野に入れ、令和5年度の教育部、各課の運営方針を定め全力で職務を遂行すること。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策で学んだことを基に、引き続き児童・生徒及び市民の生命と健康を守る施策を迅速かつ確実に行うこと。
- (3) 急激に変化する時代の中で求められる教育の在り方を明確にし、すべての市民にとって魅力あふれる教育の創造に向けて、中長期的な見通しを持って教育行政の改善・充実に取り組むこと。
- (4) 国や都の施策、予算等の動向を踏まえ、補助事業や支援事業への適切な対応に努めるとともに、すべての学校の教育環境の充実にに向けた整備を成し遂げること。
- (5) 持続可能な社会の創り手となる児童・生徒の育成を図るため、学校と地域・産学官の連携等、社会に開かれた学校教育を一層推進するとともに、Society5.0 時代に向けて着実に準備を進めること。
- (6) 新庁舎への移転を視野に入れながら、常に社会の変化に対応した業務改善の視点を持ち、新たに解決すべき課題等を見据え、次年度の予算編成に向けた重点化を明確にして、継続事業の見直しと新規事業の立ち上げなどの施策の検討等を確実に行うこと。

2 『国分寺市ビジョン後期実行計画』及び『第2次国分寺市教育ビジョン』等を踏まえた方針

- (1) 『第2次国分寺市教育ビジョン』（以下「教育ビジョン」という。）は策定から4年目を迎え、いよいよまとめの時期となる。これまで、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、その推進が十分に果たせなかった施策もある。軌を一にする「魅力あふれ ひとがつながる 文化都市国分

寺」「人と人がつながり、学びが循環するまち」の実現を目指すことに変わりはなく、改めて現状と課題の把握に努め、SDGsの理念を根幹に据え、推進に向けた取組を一層加速させることが求められる。

教育ビジョンに基づく主要施策の点検及び評価を踏まえ、各施策の目標達成までのマネジメントを確実に行うこと。

- (2) 児童・生徒及び市民一人ひとりの学びの充実に向けた教育行政の視点に立ち、すべての事務事業の効果的かつ効率的な実施に努めるとともに、市民、近隣大学、企業等との連携をより一層推進すること。

3 適正な事務執行の確保に向けた方針

- (1) 事務執行においては、その業務目的を十分理解し、法令等に則り、正確かつ適正に行うこと。
- (2) 組織的な事務執行を心がけ、常に複数でチェックをする体制を構築すること。
- (3) チームワークと効率化に努め、超過勤務の削減やワーク・ライフ・バランスを推進するなど、職場全体の働き方改革に全職員で取り組むこと。

4 職員の人材育成に向けた方針

- (1) 令和5年度市政運営の基本方針に基づき、すべての職員の自己実現を図る人材育成に努めること。

5 令和5年度の重点施策

- (1) 国分寺市ならではの教育となる「国分寺学」の検討・試行
- (2) コミュニティ・スクール、小中連携教育の更なる充実
- (3) 脱新型コロナウイルス感染症への取組の推進
- (4) 『すべての人を大切にするまち宣言』に基づく取組の推進
- (5) GIGA スクール構想に基づく ICT 教育の推進
- (6) 第4次国分寺市特別支援教育基本計画（義務教育時）の推進
- (7) 学校水泳指導の外部委託の試行
- (8) 小学校における教科担任制の研究成果の検証

- (9) 中学校部活動の地域移行に向けた取組の推進
- (10) 働き方改革の一層の推進
- (11) 35人学級の段階実施を見据えた教育環境の整備及び学校施設長寿命化計画の推進
- (12) アフターコロナ時代に向けた社会教育, 公民館運営及び図書館運営の工夫改善
- (13) これからの100年を見据えた史跡武蔵国分寺跡の整備の推進
- (14) 市政60周年を契機とした新たな市史編さんへの着手

順不同